



国連気候変動枠組条約 COP28 における OECC の活動と発信

一般社団法人 海外環境協力センター 主任研究員 **渡辺 潤**

国連気候変動枠組条約 COP28 が 2023 年 11 月 30 日から 12 月 12 日にかけてアラブ首長国連邦・ドバイで開催されました。OECC からは総勢 9 名が参加し、日本政府代表団の一員としての活動およびオブザーバー団体として情報発信等を行いました。

二国間クレジット制度 (JCM) の促進

COP28 会期中に OECC は環境省や JICA との連携により、二国間クレジット制度 (JCM)、コ・イノベーションのための透明性パートナーシップ (PaSTI)、フロンガスの削減および冷凍空調機の省エネ、ベトナムの GHG 排出報告制度の整備など、様々なテーマに関するサイドイベントを開催しました。本報告では、特に JCM に関する取り組みを紹介します。

日本政府が 2013 年から開始した JCM は、プロジェクト件数、パートナー国および対象分野など多くの面で発展を続けています。OECC は環境省との共催により、12 月 3 日にサイドイベント「二国間クレジット制度 (JCM) 実施の促進と拡大」をジャパン・パビリオンで開催しました。イベントには、日本側から環境省、農林水産省および OECC、JCM パートナー国側からタイとチリの政府関係者、JCM の取り組み実施で連携するアジア開発銀行 (ADB) が参加し、それぞれの立場から JCM 実施の進捗やパリ協定 6 条との関わりについて情報共有され、更なる展開に向けて必要な取り組みや検討課題について議論がされました。JCM の対象分野の広がりを象徴し、COP での JCM のイベントとしては初めて農林水産省が登壇し、農業分野での JCM 実施の取り組み状況や期待についても議論されました。



JCM のサイドイベントへの登壇者 (OECC からは竹本理事長 (左端)、加藤理事 (右端) が登壇)

また、OECC は 12 月 8 日と 9 日に展示ブースを設置し、来場者に対して JCM を中心とした OECC の取り組みの共有と意見交換を行いました。展示ブースには 10 カ国以上から参加者が訪れ、JCM だけでなく OECC の環境協力への関心や相談が寄せられました。



モルジブからの参加者とマングローブ保全の取り組みおよび JCM について情報共有

COP28 を通じた広報活動

OECC では、毎年 COP の特集ウェブページや X (旧 Twitter) を通じて、サイドイベントの開催案内や会場での様子を発信しています。また、COP28 ジャパン・パビリオンウェブサイト (環境省) や炭素市場エクスプレス (環境省)、専門メディアの IISD ウェブサイトなども活用して OECC の活動成果を幅広くお伝えできるよう積極的に広報に取り組んでいます。



COP28 特設サイトと X (旧 Twitter) での発信